

海外の 農業生産現場における GAPの取り組み

世界的な食料流通が進み、食のリスク管理が世界的な問題となっており、高等教育には、国際標準のGAPに対応できる食の安全管理専門職業人の養成が求められています。宮崎大学農学部は、農業団体との連携協力による実践教育を展開し、国際標準の適正農業規範（GAP）に沿った食の安全管理専門職業人を養成することを目指しています。

今回は、第2回FD/SD研修会として、農学部 大野和朗准教授に、米国カリフォルニアのメロン農場での、GAP導入後の実践状況について、動画映像を交えて具体的に解説していただきます。

参加を希望する方は、下記（GAP事業推進室）へ前日（6月1日）までにお申し込み下さい。

日時：2011年6月2日（木）

9:00～10:00

○場所：農学部木花フィールド管理棟2階 講義室

○講師：大野 和朗 准教授

（GAP教育プログラム実施委員会 副委員長）

○内容：講演・質疑応答

■問い合わせ先■

GAP事業推進室（担当：佐藤信輔）

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学農学部(N708号室)

TEL/FAX: 0985-58-7165（内線：7165）

E-mail: muigap@cc.miyazaki-u.ac.jp

